

Start Today Technologies Meetup にオウチーノ CTO・エンジニアが登場！

住宅・不動産専門サイト「オウチーノ」を運営する株式会社オウチーノ（本社：東京都港区／代表取締役社長：堀口育代／証券コード：6084）の取締役CTOとエンジニアが、スタートトゥデイグループのサービス運用・技術開発を行う株式会社スタートトゥデイテクノロジーが2018年8月28日（火）に実施する「Start Today Technologies Meetup #7」に登壇します。



「Start Today Technologies Meetup #7」概要

□ テーマ

「システムリプレイス Night」

レガシーシステムの存在は、サービスが成功して現在まで生きながらえてきた証ですが、担当するエンジニアの悩みの種でもあります。

音楽界の偉大なレガシー、ポールサイモンは、「音楽は常に過去に向かって進行しているものなんだ」と述べていますが、我々の作り出すサービスも生み出された瞬間からレガシーシステムへの道を歩みだします。

ITの普及の歴史は、多くのレガシーシステムを生み出してきた歴史と言い換えても良いでしょう。

今エンジニアとして活動をする我々は、先人の積み上げてきたレガシーを活かしつつ、より多くの価値をもたらすシステムへとリプレイスすることが、多くの現場で求められています。

今回のMeetupでは、レガシーシステムと向き合い、それを作り変えてきた2社の事例を紹介することで、レガシーシステムとの向き合い方、システムリプレイスを行うにあたっての知見について共有をできればと思います。

□ 日程

2018年8月28日（火）19:30～21:45

受付は19:15から開始し、20:00に終了いたします。



□ 場所

株式会社スタートトゥデイテクノロジーズ 本社
(東京メトロ「表参道駅」から徒歩3分)

□ 登壇内容

株式会社オウチーノ 取締役CTO 吉川崇倫

「分かれたシステムをていねいにモノリスに集約する」

オウチーノではもともとサービスごとに異なる言語やFWを用いてシステムが分かれており、担当者もそれぞれ別々でした。そのため各サービスに精通した担当者が少なく、担当者は日々の運用で手一杯という状況下で、リプレイスもうまく進んではいませんでした。そこでリプレイスよりも、分かれているシステムをひとつのモノリシックアプリケーションに集約することで、チームとしてよりワークすることをまずは目指しました。一方で数多くのサービス機能を集約することは、そのモノリシックアプリケーションが急激に肥大化することも意味します。そこでモノリスにすることでの弊害をなるべく抑えつつ集約していく事例についてご紹介します。

株式会社オウチーノ エンジニア 山本亮

「リプレイスではなくリノベーションという選択について」

オウチーノでは何度かリプレイスの話が出てきては消え、実行しては潰れてきました。そこに立ち上がったのが、複雑怪奇なバックエンドの構造です。

- ・サービスによって異なるデータベース
- ・毎日ほぼ全てのデータを入れ替える、仕様書のないバッチ
- ・絶え間なく走り続ける、複雑かつ肥大化したSQL
- ・職人の技が光るリリース作業

これらの諸問題に、リプレイスという真っ向勝負を避け、如何にリノベーション（更新）してきたかをご紹介します。

株式会社スタートトゥデイテクノロジーズ エンジニア 大平哲也

「ZOZOTOWNシステムリプレイスの道のり」

既存の事業を止めずにシステムを刷新する事は困難を伴う作業で、システムが大きくなればなるほどその困難は大きくなります。また、システムを作り直すということは仕事のあり方を作り直す事であり、技術的な課題解決を超えた視点も必要になります。

実際にシステムをリプレイスしてみた事例として、採用した技術スタックや技術的取り組みをご紹介しますとともに、得られた知見や遭遇した困難などについてお話しします。

株式会社スタートトゥデイテクノロジーズ エンジニア 鶴見純一

「ZOZOTOWNの抱える巨大データのマイグレーションについて」

ZOZOTOWNの抱えるデータは膨大であり、それらを新システムへ適切に移行するのは困難な道のりでした。

サービスを維持しつつデータを守りながら移行するために、どのような取り組みを行い、どのような苦勞をしたか、簡単にご説明をします。

□ その他

詳細はこちらをご確認ください。

<https://starttoday-tech.connpass.com/event/96477/>



お問い合わせ先

このリリースに関するお問い合わせや取材、資料ご希望の方は下記までご連絡ください。

株式会社 オウチーノ（広報／清水）

〒105-0003 東京都港区西新橋 3-23-5 御成門郵船ビルディング 6F

<TEL : 03 (5402) 3314 FAX : 03 (5402) 3313 E-MAIL : publicity@o-uccino.jp>

